

経営カステップアップ事業の第3弾

企業救済セミナー「銀行との交渉術」開催



近畿印刷産業機材協同組合(加買順三理事長)は11月27日、銀行交渉に関する企業救済セミナーを大阪府商工会館において開催。およそ20名が参加し、銀行との交渉術を学んだ。

同セミナーは、10月にも経営カステップアップ事業の第1弾として開催されたもの。前回は好評であったことから、今回第3弾として開催されたもの。講師は、第1弾に引き続いて、アルス(株)取締役の柴口敏一氏が務めた。

柴口氏は、近畿大阪銀行で支店長、本部部長、債権回収部責任者などを歴任してきた人物。銀行の舞台裏を知り尽くしたエキスパートの立場から、資金調達から返済に至るまでの「銀行交渉術」が披露され、参加者は熱心に話に聞き入った。

また、今回は経理管理や資金管理、原価率管理など「企業内部のチェックポイント」についての解説も行われ、企業経営に一助を与えた。



2010年2月3日(水)から5日(金)までの3日間
東京・池袋のサンシャインシティ・コンベンションセンターTOKYOで

PAGE 2010

(社)日本印刷技術協会(JAGAT、浅野健会長)は、2010年2月3日(水)から5日(金)までの3日間、東京・池袋のサンシャインシティ・コンベンションセンターTOKYOにおいて「PAGE2010」を開催する。23回目を迎える今回は、「新生グラフィックビジネス」をテーマに展示会のほか多彩なコンファレンス、セミナーが企画されている。

昨年11月24日の記者会見の冒頭、挨拶に立った浅野会長は「今回のPAGEでは、あらためてアナログの良さ、アナログでなければ出来ない技を取り上げていきたい。そのうえで最新のデジタルソフト、ハードが生み出す最新技術とのコラボレーションを披露していきたい」とデジタルとアナログの融合させた「ハイブリッド」の提案を行なっていくことを明らかにした。

昨年のPAGE2009では、「ゼロリセット」をテーマに「情性のメディアビジネスに終止符を」と訴えてきたが、今回のPAGE2010では、さらに一歩進んだ新たなビジネスやプロセスの船出にふさわしいプレゼンテーションを提案していく。

特に今回は、デジタルとアナログを融合したハイブリッドの効果を切り口として昨年、大きな反響を呼んだデジタルサイネージと大判プロットによるポスターやデジタルプリントの組み合わせによる効果の検証などデジタル+アナログによるバリューチェーン強化を方法について幅広く提案していく。

出展規模は、出展社140社、500小間(予定)でコンファレンス29セッション、セミナー12セッションを予定している。その他、多彩なメディアに係る団体が参加し、イベントを展開するクロスメディアコンファレンスや印刷およびコンテンツ、ITおよび教育機関などの団体がセミナー、会議などを開催するジョイントイベントなども用意されている。

また今回から、Aホールの使用を取りやめ、展示ホールをB、C、D(文化会館)に集約化し、よりPAGE色を強めることで他の展示会との差別化を図っていく。

【開催概要】

- ◎名称…PAGE2010
- ◎テーマ…「新生グラフィックビジネス」
- ◎会期…2月3日(水)～5日(金)
午前10時～午後5時
- ◎会場…サンシャインシティコンベンションセンターTOKYO
- ◎開催規模
展示会…出展社140社、500小間(予定)
- コンファレンス…29セッション
セミナー…12セッション(予定)
- ◎入場料…1,000円